

世界の観光行政官らが倉敷市を訪問 倉敷市の観光振興策と代表的観光施設を学びます

JICA東京では、日本で観光マーケティングや観光客誘致の手法を学ぶことを目的とした研修を実施しており、開発途上国から観光行政官を受け入れています。今回は下記日程において倉敷市を訪問しますので、是非取材をご検討ください。

開発途上国では、外貨獲得や雇用創出、地域開発の観点から観光客の誘致に取り組む国が多くあります。日本で実施されている、地域開発や観光資源開発の事例研究のため、今回は倉敷市を訪れます。

倉敷市では積極的に観光振興策を展開し、国内観光客及び員バンド観光客の誘致に成功しております。こうした観光振興策について倉敷観光コンベンションビューローより説明を受け、同市の代表的な観光施設である倉敷美観地区や大原美術館を訪れます。



昨年の研修風景【 栃木県視察旅行 】

<取材可能日時・場所>

9月16日(月・祝)

10:00-11:30 / コートホテル倉敷での倉敷市の観光振興策の説明

13:00-16:00 / 倉敷美観地区・大原美術館への訪問

※取材をご検討いただける場合、事前に下記連絡先までご一報いただければ幸いです。

<研修概要>

研修コース名：観光振興とマーケティング

研修期間：2019年8月29日～2019年9月27日

<参加者>

ボツワナ、エジプト、イラク、モンテネグロ、ミャンマー、パレスチナ、ウズベキスタン、ベトナム(2名)からの観光行政関係者9名

※当日は、研修監理員が同行し、通訳(英語-日本語)を行います。



今回の研修の参加メンバーと講師(左2名)

【本件に関する問い合わせ・連絡先】

◆当日の取材について

JICA 東京 産業開発・公共政策課 門脇

TEL 03-3485-7630 E-mail: Kadowaki.Megumi@jica.go.jp